

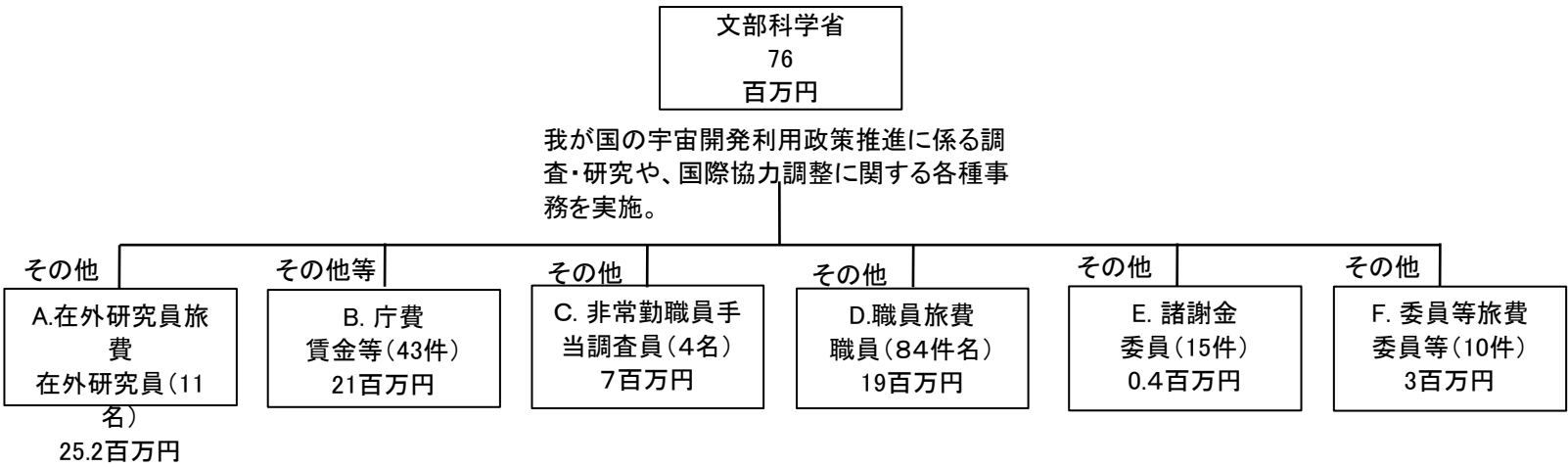
	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進				担当部局庁	研究開発局	作成責任者
事業開始年度	平成23年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	宇宙開発利用課		宇宙開発利用課長 上田 光幸
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	文部科学省組織令第七十二条			関係する 計画、通知等	宇宙基本計画(令和5年6月13日閣議決定)等		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-5 国家戦略上重要な基幹技術の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisk02-000019646_9-5.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	「宇宙基本計画」(令和2年6月30日閣議決定)に基づき、宇宙開発利用の戦略的研究及び国際展開の推進を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	アジア・太平洋地域における宇宙利用・協力の促進等を目的として、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構と共に、「アジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)」を平成5年度より毎年開催している。令和4年度は、ベトナムで開催し、33か国・地域及び3国際機関から359人の参加があった。APRSAFを通じて、同地域内の宇宙活動に関する情報共有や、災害や環境など地域共通課題の解決に向けた国際協力プロジェクトなどを実施することで、同地域における我が国のプレゼンスの維持・向上につなげるとともに、同地域の宇宙利用や宇宙市場規模の拡大、ひいては我が国の産業振興に貢献している。						
事業概要 (5行程度以内)	目的に照らし、我が国の宇宙開発利用の政策推進に係る調査・研究や、国際協力調整に関する各種事務を行う。具体的には、以下の事項を実施。 ①国内の宇宙開発全体に関する科学技術の動向調査、その他事務。 ②宇宙分野の国際会議等や二国間の会談等により国際協力・調整を積極的に進め、宇宙分野の戦略的な国際展開を推進。 ③政府職員を諸外国の宇宙政策等の中核をなす専門家の下に派遣し、調査・協力業務に当たらせ、宇宙分野の国際動向・技術動向の情報収集体制を整備。						
事業概要URL	-						
実施方法	直接実施						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	88	78	78.3	77.9	3,108
		補正予算(B)	-	▲0.1	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	▲ 9	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	79	77.9	78.3	77.9	3,108	
	執行額(G)		28	51	76		
	執行率(%) =(G)/(F)		35%	65%	97%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		32%	65%	97%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		研究開発維持費		令和5年6月13日に閣議決定された宇宙基本計画について、その工程表に沿った開発を着実に進めるために所要の経費を計上しているもの。 重要政策推進枠 30百万円		
	(目)	在外研究員等旅費	27	27			
	(目)	庁費	19	23			
	(目)	職員旅費	18	37			
	(目)	非常勤職員手当	7	14			
	(目)	委員等旅費	6	6			
	(目)	謝辞金	1	1			
		その他	0	3,000			
	計(A)		77.9	3,108			

活動内容① (アクティビティ)		国内外での動向調査、国際会議への参加等を通じて国際協力を推進する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		国内外での動向調査、国際会議への参加等	国内外での動向調査、国際会議への参加等の回数	活動実績	回	21	73	94	-	-	
				当初見込み	回	147	141	139	-	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「国内外での動向調査、国際会議への参加等」を行っていくことで、日本のプレゼンスの維持・向上につながり、宇宙技術によるアジア太平洋地域の災害管理への貢献を目的に立ち上げられたプロジェクト、「センチネルアジア」の参加国数及び参加機関数の増加につながる。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		センチネルアジアの参加国数及び参加機関数の増加	センチネルアジアの参加国数及び参加機関数	成果実績	人	111	111	113	-		
				目標値	人	110	111	111	-		
				達成度	%	100.9	100	101.8	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		-									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	センチネルアジアの参加国数及び参加機関数の増加は、本プロジェクトを推進している宇宙コミュニティであるアジア太平洋宇宙機関会議(APRSAF)の参加者数の増加につながる。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		アジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)の参加者数の増加	国際協力・交流により、世界的な共通課題への対応を図るべく、諸外国との協力関係を拡大するため、アジア・太平洋地域宇宙機関会議(APRSAF)に各国から参加を得る。	成果実績	人	620	843	359	-		
				目標値	人	350	350	350	-		
				達成度	%	177.1	240.9	102.6	-		
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		レジストレーションデータ									
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名称	-									
	URL	-									
	該当箇所	-									

事業所管部局による点検・改善		
点検結果	本事業により、我が国における宇宙外交や国際協力の推進、宇宙システム海外展開への貢献がなされている。 また、本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切に処理に努めている。	目標年度における効果測定に関する評価（令和〇年度実施）
		—
改善の方向性	今後も引き続き、事業の効率的な実施に努めていくものとする。 また、今後の事業の実施に当たっては、予算規模を踏まえ、引き続き適切に実施していくものとする。	
外部有識者の所見		
外部有識者による点検対象外		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見		
事業内容の一部改善	アウトカムが複数段階設定できないとしているものについて、事業効果を適切に測るために複数設定できないか、引き続き検討されたい。	
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況		
年度内に改善を検討	アウトカムの複数段階設定した。	
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	
	—	
	上記への対応状況	
	—	
	その他の指摘事項	
	—	
	上記への対応状況	
	—	
備考		
—		

関連する過去のレビューシートの事業番号																											
平成23年度	23-0059																										
平成24年度	24-0304																										
平成25年度	25-0298																										
平成26年度	26-0292																										
平成27年度	27-0282																										
平成28年度	28-0279																										
平成29年度	285																										
平成30年度	263																										
令和元年度	文部科学省	-			0257																						
令和2年度	文部科学省				0259																						
令和3年度	2021	文科		20	0281																						
令和4年度	2022	文科		21	0285																						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	在外研究院旅費	宇宙開発関係者の海外派遣等旅費	25	庁費	賃金	21
	計		25	計		21
	C.			D.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	非常勤職員手当	非常勤職員の人件費	25	職員旅費	国内外での動向調査等のための旅費	19.4
	計		25	計		19.4
	E.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	謝辞金	専門家等への謝辞金	0.4	委員等旅費	国内外での動向調査等のための旅費	2.6
	計		0.4	計		2.6
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.在外研究員旅費

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	在外研究員K	-	在外研究	6	その他	-	-	-
2	在外研究員A	-	在外研究	5	その他	-	-	-
3	在外研究員H	-	在外研究	4	その他	-	-	-
4	在外研究員E	-	在外研究	4	その他	-	-	-
5	在外研究員B	-	在外研究	2	その他	-	-	-
6	在外研究員I	-	在外研究	1	その他	-	-	-
7	在外研究員F	-	在外研究	0.9	その他	-	-	-
8	在外研究員C	-	在外研究	0.9	その他	-	-	-
9	在外研究員G	-	在外研究	0.8	その他	-	-	-

B.庁費

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	事務補佐員A	-	賃金	4	その他	-	-	-
2	事務補佐員B	-	賃金	4	その他	-	-	-
3	事務補佐員C	-	賃金	4	その他	-	-	-
4	事務補佐員D	-	賃金	4	その他	-	-	-
5	株式会社日本旅行	1010401023408	雑役務費	1	随意契約(少額)	-	-	-
6	大学共同利用機関法人 自然科学研究機構	5012405001823	雑役務費	1	その他	-	-	-
7	JAMES R PATRICK	-	雑役務費	0.2	随意契約(少額)	-	-	-
8	山田真太郎	-	雑役務費	0.2	その他	-	-	-
9	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	4010401032249	雑役務費	0.2	随意契約(少額)	-	-	-
10	レンタルサークル 合同会社	9010003025720	雑役務費	0.2	その他	-	-	-

